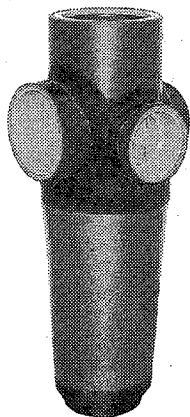


前澤化成工業(株) (窪田政弘社長) は二月十六日、東京・中央区日本橋本町の本社会議室で樹脂

樹脂製排水用特殊継手 ビニコアシリーズ発売へ

前澤化成工業



製排水用特殊継手「ビニコアV-CPシリーズ」
Ⅱ写真左Ⅰの新製品記者発表を行った。排水用特殊継手の専門メーカーである(株)小島製作所(本社・愛知県名古屋市、小島誠造社長)とアライアンスを組み、新規事業として主にマンション市場などで使用される樹脂製排



窪田社長



小島社長

水特殊継手を五月末から発売する。軽量かつ遮音性能に優れ、腐食もない画期的新製品で小島製作所が製造し、前澤化成工業が販売する。
当日は、小島社長が冒頭あいさつに立ち「開発にあたっては第一に排水性能を最優先した。そのうえで、時代に合わせて

樹脂製に軽量化し、遮音性、耐火性、施工性、耐食性、耐衝撃性、コストなどを追求した。四種類×五サイズのバリエーションを用意し、用途によってさまざまに提案できる」と製品開発のポイントについて説明した。

続いて、窪田社長が「当社はCHALEN GE2017として二〇一七年度に売上高二百五十億円、さらに創立七十周年を迎える二〇二四年度に売上高三百億円を目指す」と指している。ビニコアV-CPシリーズは高度な要求にも高性能で対応できる能力や品質を備えている。今後時代の変化に的確に対応した新しいモノを提供していきたく」と力強く述べた。

新製品特長をみると、軽量化の面では、従来の鋳鉄製に比べ約三分の一の重量で施工性の向上にもつながる。樹脂化でトータルコストも低減され、立て管・横枝管にV-P管を使用できる。また耐食性、耐薬品性、耐衝撃性、防滴仕様と機能を向上させ、配管更新時は引き抜きが容易に行える。

立て管四種類(V-P裸、耐火二層管、グラスウール十遮音材、防音フェルト十遮音材)、石膏ボード厚五通り用意し、計二〇パターンと多彩なバリエーションで顧客ニーズに合わせた遮音性能

を提供していく。

日本設備工業新聞
2016年(平成28年)2月25日(金曜日)